

## ■余市郡漁業協同組合 油汚染防除講習会

実施日時

平成 29 年 11 月 10 日（金）

実施場所

余市郡漁業協同組合 会議室 及び 隣接する岸壁（北海道余市郡余市町）

講習会の内容

- ①海上におけるオイルフェンスの展張訓練
- ②「油濁事故発生時の対応」に関する講演
- ③水槽実験

### ■講習会概要

#### 1. 海上におけるオイルフェンス展張訓練

今回の講習会では、講習会の冒頭に「海上におけるオイルフェンスの展張訓練(以下、オイルフェンスについてはOF)」を実施しました。



\*YouTube で展張の様子をご覧いただけます

[https://youtu.be/fa7SBH\\_0\\_TM](https://youtu.be/fa7SBH_0_TM)

<展張の概要>



上記の図のとおり展張を計画し、以下の資機材を用意しました。

- ・ OF : B型×3本  
( \* B型OFは1本が20、合計60メートルを使用)
- ・ 展張形状 : 直線型展張
- ・ ロープ : 20m×3本、40m×1本、5m×3本
- ・ アンカー : 10kg程度のもの×1個 + チェーン
- ・ 重錘 : 10kg程度の物×3個

また、展張実施では

- ・ 陸上作業員 : 10名 船舶 : 1隻 (作業員5名) 合計15名  
の方に、ご協力いただきました。

以下、簡単ですが当日の展張の様子です。

<展張手順>

- ・ 陸上よりOFを海上に繰り出し





繰り出されたOFを船舶で曳航



・テンションロープ、補助ロープ、エンドロープ、でオイルフェンスの形状を整える



・船舶側でアンカーを投入



・ロープをビットに係留



↓

- ・(岸壁への係止部分のOFに対し) 仕上げに重錘を垂らして完成



\*重錘を投入する写真ではありませんが、このようにOFの一部を岸壁側に引き寄せ、OF外側に重錘を垂らし、OFと岸壁の間に隙間が空かないように係止します。漏油を防ぐためです。

↓

- ・逆の手順をたどってOFを回収



となります。

今回の展張及び回収作業は、全体で約40分という非常に短時間で終了しました。

的確かつ迅速な作業でご協力いただいた、余市郡漁業協同組合様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 2. 「油濁事故発生時の対応」に関する講演

今回講習会では、漁業協同組合、地方公共団体及び民間企業における油濁対策のご担当様に、当機構専門家より「油濁事故発生時の対応」につき、重要ポイントを約50分間に凝縮し講演をおこないました。



—海洋での原因者不明の流出油等事故は、およそ1日に1件発生していること。また、過去に発生した石狩湾新港での事故の概要を

を確認し、まず、最初にすべきこととして

—引続く油の流出を止めること

つぎに

—事故発生の際に把握すべき事項は

- ・油の種類と性質
- ・流出箇所、流出現場の状況
- ・流出量
- ・流出油の拡散・漂流・経時変化
- ・漁業等種変環境

などであり、それらを把握したうえで

一防除計画を作成するための各種防除資機材の特性

- ・油を包囲する手段として用いる「オイルフェンス」については  
種類と構造  
接続及び展張方法  
アンカリング方法  
岸壁や船体等への係止方法  
性能の限界 など
- ・油を回収する手段として用いる「各種資機材」については  
油回収装置  
各油吸着材の特性と対応する油種 など

について確認しました。

さらに

一回収油の一時保管及び輸送

一油処理剤の使用に関する注意点

一家庭用洗剤の使用は厳禁であること

について講演しました。



### 3. 水槽実験

油濁事故の現場では、流出した油にあった防除資機材を選ぶ必要があります。今回の水槽実験では、A重油、C重油の性状の確認、各重油に対してどのような資材が効果的か、A重油とC重油が一緒に流れてきた場合には、について当機構講師が実演、ご覧いただきました。



### 4. 質疑応答

Q. 軽質油に対し油処理剤は使用不可とのことでしたが、他にどのような防除方法があるのでしょうか。

A. 軽質油は、蒸発するのが早い油のため、船で攪拌する等、蒸発をうながしたり、量が多いときは吸着材で回収する等します。